

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓 太	電話番号	0852-22-6776
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	県民会館事業		
目的	(1) 対象	県民及び文化芸術団体など	
	(2) 意図	幅広い文化芸術活動と優れた文化芸術鑑賞の機会が得られる。	
事業概要	島根県民会館の管理運営について、平成17年度より指定管理者制度を導入し、指定管理者により管理運営を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	大ホール及び中ホールの利用者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			式・定義	利用者数	目標値	175,435	140,024	140,000		140,000
			達成率		124.30	131.70	119.10		%	
成果参考指標	指標名	文化事業による参加者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			式・定義	入場者・参加者数	目標値	30,000	30,000	30,000		30,000
						達成率	32,947	51,563	51,186	56,606
					171.90	170.60	188.70		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	209,088	206,621
うち一般財源(千円)	27,878	25,391

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

大ホール・中ホールの利用者数は、4年連続で目標を達成した。
文化事業による参加者についても、目標を大きく上回ることができた。積極的に地域に出向き、県内市町村や文化施設と連携した事業を実施することで、多くの県民の参加につながっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

昭和43年の開館以来、島根県の文化芸術振興における拠点施設として、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能など多様な文化芸術の鑑賞機会を提供し、県民の文化芸術活動における発表の場の提供や活動の支援を行ってきた。
指定管理制度を導入し、指定管理者の創意工夫により様々な文化事業に取り組むとともに、ホールや会議室を多くの県民が活用するため管理運営を行っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
施設利用者数を維持していくこと、また県内文化芸術の拠点として広く県民の文化芸術活動を活性化していくことが課題である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
文化芸術活動の担い手の高齢化、後継者不足や、近隣文化施設との競合があるため。
- ③原因を解消するための「課題」
県民が安全で快適に会館を利用できるように施設の維持修繕に努め、利用者のニーズに応えた適切な対応を行うとともに、新たな利用者の開発を図って、さらなる県民の利用促進につなげる必要がある。
周辺地域や文化芸術団体、教育機関等と連携し、広域的に特色ある文化事業を展開して、多くの県民の参加を促していく取組みが求められる

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後は、県民の利用促進を図ることはもとより、会館内にとどまらず、広く県域全体の文化芸術活動の裾野の拡大に向けた事業展開を目指し、取り組んでいく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）